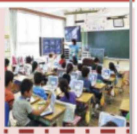
留萌管内
学力・体力
向上便り

力を合わせ留

令和４年１月14日
第87号

留萌管内ICT活用実践事例②～協働学習に係る実践例～

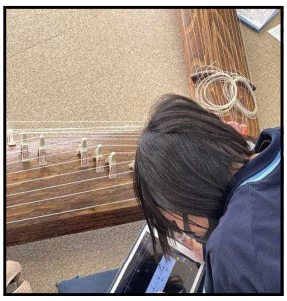
ＧＩＧＡスクール構想により、各学校では一人一台端末を活用した取組が推進されているところです。今回は、協働学習に係る管内の学校における活用事例を紹介します。
各学校の取組の参考に、本資料を活用ください。

	「１人１台端末」ではない環境		「１人１台端末」の環境
一斉学習	・教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる	学びの深化	・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる → 子供たち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能に 
個別学習	・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）	学びの転換	・各人が同時に別々の内容を学習できる ・各人の学習履歴が自動的に記録される → 一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能に
協働学習	・グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に）		・一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる ・各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる → 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる

Ａ中学校「音楽科の授業における活用事例」

Ａ中学校は、音楽科の授業において、音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聞くことができるようgoogleClassroomのJamboardを活用した実践を行いました。

ICTの各自の考えを即時に共有できる利点を生かして、生徒相互のやりとりから、音楽が生み出す雰囲気や表情の変化に気付くとともに、生徒個々が創り出す音楽のイメージをより豊かなものにつなげることができました。

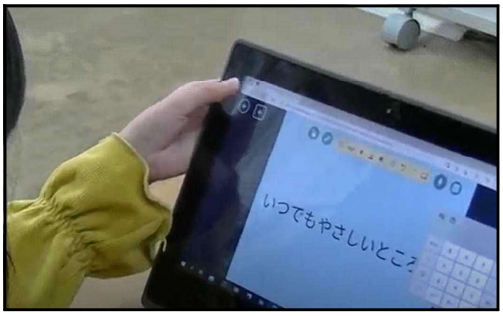


【Jamboardを活用した授業の様子】

Ｂ小学校「道徳科の授業における活用事例」

Ｂ小学校は、道徳科の授業において、自分の良いところを見付け、自分のよさを実感するとともによさを伸ばそうとする意欲や自尊感情を高められるようロイロノートを活用した実践を行いました。

ICTの多様な意見に即時に触れられる利点を生かして、ロイロノートを活用し友達同士のよさについてのやりとりをとおして、自分では気付かなかったよさに気付くことができるなど、本時の目標の達成につなげることができました。



【ロイロノートを活用した授業の様子】

また、ICTの学習履歴が自動的に記録される利点を生かして、本授業の学習シートを他の道徳科の題材や国語科などの他教科の授業でも使用し学びを深めるなど、教科等横断的な取組を進めています。

学校教育の質の向上に向けたICTの活用　～　一層の取組の充実向けて　～

ICTの活用の一層の充実に向けては、これまでの教育実践の蓄積をもとに、ICTの特長である「時間的・空間的制約を超えること」、「双方向性を有すること」、「カスタマイズの容易さ」等を生かした授業改善を進め、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すことが重要です。

参考資料～各学校でぜひ御活用ください。

- 道教委ICT活用ポータルサイト等
- 文部科学省「StuDX Style」
- 文部科学省『各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について』